

理事

白石東苑（しらいしとつえん）

身をまじりてうき巻も又ほどこ行く火の形
空のけしきもかたじけなくとも昔をたてて洗はれ行く
木の葉煙のうきまじりて炎の先かきもれど飛ぶ
たえまじりて新も忽ち消え再び戻る事一かた炎の礼を舞

源文子の詩 白石東苑

